

地域協働学部 ディプロマ・ポリシー

本学部は、地域社会が抱える課題を「地域協働」を通じて解決することのできる「地域協働人材（地域理解力・企画立案力・協働実践力の3つの能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見しその解決のための取り組みを行う中で、立場や利害を越えて人や組織などの協働を創出・促進することができる人材）」を育成するため、学生がこの人材に必要とされる能力を修得することをめざしている。

【対課題】

- ・地域社会を理解するために必要な知識を身につけ、活用することができる。
- ・地域社会で多様な人々と協働するために必要な知識を身につけ、活用することができる。
- ・地域社会を理解した上で課題を把握し、その課題への対策を考えることができる。

〔専門分野に関する知識〕

1. 地域社会および地域協働に関する専門的知識を修得し、活用することができる。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 地域社会および地域協働に関する基礎的で幅広い知識を修得し、活用することができる。

〔論理的思考力〕

1. 地域課題を把握するために必要な情報を収集し、分析することができる。
2. 地域課題への対策について筋道を立てて論理的に考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 十分な地域理解に基づき、地域課題を探求し発見することができる。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 地域情報を多様な情報源から多様な形式で収集することができる。

【対人】

- ・地域課題解決に向けた関係性理解および構築に必要な技能を身につけて活用することができる。
- ・地域の多様な人々との協働により実践するために必要な各種技能を身につけて活用することができる。
- ・地域社会に深い関心を持ち、地域課題の解決をめざす協働を作り出すことができる。

〔表現力〕

1. 地域の状況や課題を、客観的な形でまとめることができる。
2. 地域協働の事業企画を、他者の理解が容易な形でまとめ表現することができる。
3. 地域協働の事業評価を、事業の成果と今後の改善策が明確な形でまとめ表現することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 学生同士および地域の人々に対して共感力をもって接することができる。
2. 学生同士および地域の人々と協力的な関係性を構築することができる。
3. 学生同士および地域の人々とチームを作ることができ、その中で自分の役割を果たすことができる。

〔協働実践力〕

1. 地域課題の解決に向けて、地域の人々との協働を組織し、地域理解および事業の企画・実施・評価を繰り返し実践することができる。
2. 上記「1.」の活動を通し、学生が地域課題解決能力を身につけることができる。
3. 上記「1.」の活動を通し、地域の人々の地域課題解決能力向上にも貢献することができる。

【対自己】

- ・地域協働のために必要な基礎的能力・態度を備えている。

〔自律力〕

1. 自己管理能力を身につけている。
2. 地域協働の活動を長期継続的に実施できる

〔倫理観〕

1. 地域で人々と協働するために必要とされる基本的なルールやマナーに従って行動できる。

【統合・働きかけ】

〔統合・働きかけ〕

1. 講義や演習で修得したことを、地域における協働実践の場で活用し、自分から周囲に積極的に働きかけることができる。